

国際交流サロン

7月の「世界の民話と昔話」は「トルコ（古代プリュギア）の『王様の耳はロバの耳』」です。さあ、世界のことを知って交流を始めましょう。

国 トルコ（古代プリュギア）

民話／昔話 王様の耳はロバの耳

ストーリー

王様はロバの耳をしていて、それをひた隠しにしていました。知っているのは、いつも髪を切りにくる理髪師だけでしたが、王様に口止めされていました。しかし、理髪師はだまっていることができず、井戸の底に向かって「王様はロバの耳」と大声で叫びました。すると、その声が井戸を伝わって井戸という井戸から「王様はロバの耳」と聞こえてきました。国中にロバの耳をしていることを知られてしまった王様は、理髪師を罰して殺そうとしましたが、「私の耳は皆の意見を良く聞けるようにロバの耳になっている」と国民に打ち明け、理髪師の罪を解いてやります。

話が伝わった経緯

ギリシャ神話でアポロンはミダス王の耳をロバの耳にしてしまいます。理髪師を許したミダス王の「人に対する寛容さ」に罪が許され、耳が元に戻ります。民衆の伝承により「道徳」「処世術」として伝わりました。1957年ミダス王族の墓がトルコの遺跡の一つで発見されました。

【問合せ】一般社団法人 笠間市国際交流協会
Tel.090-2761-8711（木村 美枝子）

・・・ 8月の国際交流情報 ・・・

外国人相談実務研修会

日時：8月22日（土）

午後1時30分～3時

会場：笠間稲荷神社 会議室

対象：県内のいずれかの国際交流協会に所属して外国人相談をしている会員、または外国人を雇用している事業所で外国人相談をしている方。

参加費：700円

締切：8月17日（月）までに電話でお申し込みください（先着20名）。

協力：茨城県弁護士会外国人相談委員会
茨城県弁護士会のケーススタディーに参加して、多文化共生社会における外国人のためのより良い生活支援の方法について研修をします。

☆8月の日本語教室の開講日

8月1日（土）・8日（土）・22日（土）
（友部公民館 午前10時～）

◀笠間市国際交流協会
平成27年度総会



市長コラム

輝け！若手農業者

国は、農業を今後の成長産業と位置づけ、制度の見直しや農業委員会、JAの改革等を進めています。一方で、生産の現場では、高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加、米価の下落等、数々の課題が山積しています。

先般、市内の若手農業後継者の皆さんと懇談する機会がありました。就農の理由としては、専業農家として親の跡を継いだり、企業から転職したり、新規就農をしたりとさまざまでありました。

しかし、皆さんが規模拡大や将来に對しての取組みなどについて意欲旺盛で、しっかりとした考えを持ちながら仕事に従事していることに、職業意識の高さと力強さを感じました。

また、この若い人たちが中心となって笠間の農業を支え、成長させていく担い手になってくれるものと確信をしました。

兼業から専業へ、個人から集団・法人へと経営体制を変えていく過程には、要となる担い手の確保をはじめ、施設整備、販路の開拓、販売戦略等、さまざまな課題に直面することがあるかと思えます。

市としては、重要な地域産業である農業を、経営者の皆さんと一緒に考えて考え、課題解決に役立つ支援を行いながら、笠間の農業を成長させてまいりたいと考えています。

私にとって、地元の新鮮な野菜を毎朝もりもり食えることが、楽しみの一つです。

笠間市長
山口伸樹



▲ 地方創生懇談会の様子